

令和2年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立九段生涯学習館	所在地	千代田区九段南1-5-10
-----	--------------	-----	---------------

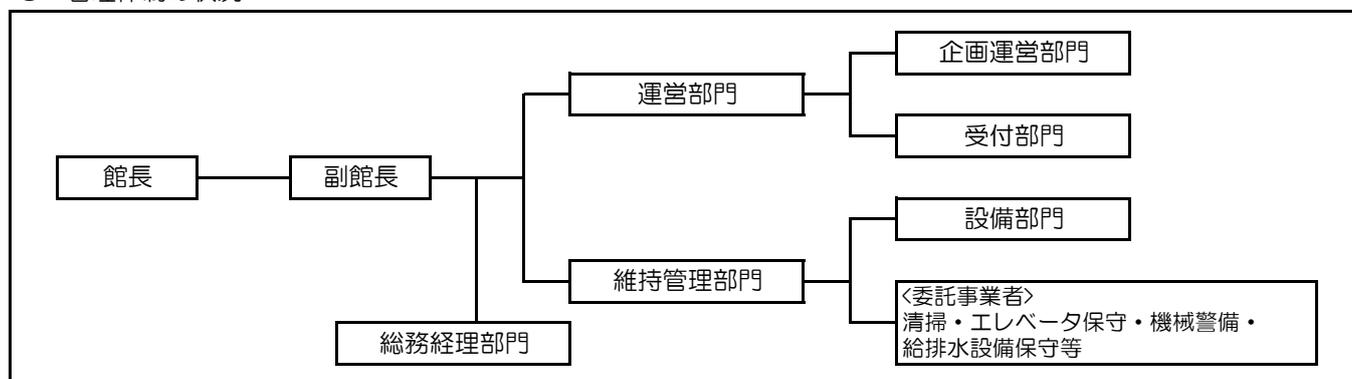
1 指定管理者の概要

名称	ミズノグループ		
代表団体	美津濃株式会社	代表者	代表取締役 水野 明人
所在地	大阪市中央区北浜4丁目1番23号		
構成団体1	株式会社小学館集英社プロダクション	代表者	代表取締役社長 都築 伸一郎
所在地	千代田区神田神保町2丁目30番地		
構成団体2	大星ビル管理株式会社	代表者	代表取締役社長 寺島 剛紀
所在地	文京区小石川4丁目22番2号		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	報告期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	区民（区に住み、働き、学ぶ全ての人々をいう。以下同じ）の生涯学習の振興を図ることを目的とし、生涯学習活動を実践できる場の提供及び支援に関する事業を行う
管理業務の内容	(1) 生涯学習館の施設の利用承認に関すること。 (2) 生涯学習関係団体の育成及び連携に関すること。 (3) 生涯学習の指導及び助言に関すること。 (4) 生涯学習活動の普及及び推進に関すること。 (5) 施設の保守及び維持管理に関すること。 (6) その他館の事業及び管理運営に関し必要な業務。

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 施設利用

年度	総数	区民一般団体利用件数	事業利用件数
2	5,149	4,941	208
元	7,956	7,577	379
30	8,516	7,980	536

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館等（令和2年度）

- ・臨時休館：令和2年4月1日～令和2年6月5日
- ・時間短縮：令和3年1月8日～令和3年3月21日

（夜間の施設利用休止、窓口受付事務9時から19時まで）

イ 主催事業

区民自主企画運営講座（8講座実施予定中、6講座実施、2講座中止）、生涯学習教養講座（4講座実施予定中、2講座実施、2講座中止）、人材バンク活用講座（7講座実施予定中、5講座実施、2講座中止）、講師助成（39団体）、児童生徒余暇事業（3講座）、家庭教育学級（8講座実施予定中、4講座実施、4講座中止）、子ども自然教室（プログラム全7回予定のすべて中止）、九段L.L.カフェ（3講座実施予定中、1講座実施、2講座中止）、異世代交流事業（1講座、中止なし）、区内生涯学習交流事業（1回実施、中止なし）、生涯学習ガイドブック（2,000部）、講座講習会バウチャー制度（373件）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部事業が中止となった。

ウ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理
- ・施設清掃業務（害虫駆除含む）
- ・警備業務

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料収入	87,707,235円	人件費	56,970,014円
施設利用料金収入	5,553,350円	委託費	11,066,280円
個別指定事業収入	396,300円	事業運営費	25,460,004円
独自事業収入	55,480円		
その他収入	335,241円		
合計（①）	94,047,606円	合計（②）	93,496,298円
収支差額（①－②）	551,308円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>新型コロナウイルスの影響による長期休館や各サークルの活動自粛により、施設利用実績が大幅に減少したが、感染症対策物品の準備やガイドライン等の作成を行い、利用件数の減少を最低限に留められたと考えられる。コロナ禍でのオンラインを活用した活動をサポートするために、館内のWi-Fi環境を迅速に整備出来たことで、利用者サービスの向上も図ることが出来た。今後は環境の整備だけではなく、ポストコロナ時代の新しい学びやサークル活動のサポートするためのリテラシー教育等のサービスに力を入れていきたいと考えている。</p> <p>事業においても、コロナウイルスの影響を受け多くの講座が中止となってしまったが、一部の講座をオンライン講座に切り替えたり、講師と日程や内容を幾度と調整を重ねたりすることで、安全に配慮した中で最大限の数の事業を実施することが出来た。今後も、ニューノーマルな時代に向けた柔軟で多様性のあるサービスや事業を実施していくため、より一層の努力を継続していく。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、様々な収支において大きな予算とのズレが生じた。収入においては、施設利用料や中止となった講座収入などにより大幅な減少があった。支出に関しては、休館等や講座中止に伴い光熱水費や事業運営費が大幅に減少した。人件費においては、度々発令された緊急事態宣言やまん延防止重点措置等による講座や開館状況の変化に対応することで大幅に増加することになった。急なシフト変更や残業対応によるもので、臨機応変な対応や安全管理上必要な経費と考えた。</p> <p>最終的な収支差額においては、年間を通じコロナウイルスの影響による収支計画とのズレを管理しながら進めていったため、大きな損失等なく終えることが出来た。次年度においてもコロナウイルスの影響が大きく出ることが予想されるため、安全管理に配慮しつつ、臨機応変な予算管理に努めていきたい。</p>

7 区としての評価・今後の方向性

<p>本年度は九段社会教育会館として昭和55年に開館してから40周年の節目を迎えた。生涯学習コミュニティペーパー「DanDan」で特集を組んだり、「九段フェス2021～九段生涯学習館 開館40周年～」では、これまでの貴重な資料の展示やサークル紹介映像を上映する等、コロナ禍での工夫を凝らした周年事業が好評を得た。</p> <p>館内のWi-fi環境整備により、既存の施設利用者へのサービス向上だけでなく新規利用者の開拓も期待できる他、オンラインでの講座運営も開始された。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館及び時間短縮やたび重なる講座の日程変更等に苦慮する1年となったが、これに対応する運営体制を着実に整えており、次年度の実績回復に繋がることを望む。</p>
--